

編集 後記

9月1日は防災の日です。今年も梅雨の長雨や台風の襲来によって全国各地で避難指示や避難勧告が発令されていますが、内閣府による避難勧告等に関するガイドラインの改定が行われ、6月からは避難指示や避難勧告に警戒レベルが付記されるようになりました。これにより住民の避難行動がより迅速かつ的確になることと期待されています。

今月号では、原著2編、特別論文と公衆衛生活動報告、資料が各1編の計5編をお届けします。原著は、シルバー人材センターを機軸としたフレイル予防施策のプロセス評価およびアウトカム評価に関するものと通院治療中のがん患者における休職関連要因とQOLに関するもので、いずれも公衆衛生の現場で働く者にとって貴重な知見が示されています。また、公衆衛生活動報告では、介護予防サポーター養成プログラムの作成と評価、資料では「子ども食堂」に関するインターネット調査とこちらも時機に即したテーマが取り上げられています。特別論文では、精神科救急医療体制の現状と課題に関する学会モニタリング・レポート委員会精神保健福祉分野活動総括を掲載しておりますので合わせてお読みいただき、学会の委員会活動についても理解を深めていただければと思います。

来月には、高知市で第78回日本公衆衛生学会総会が開催されます。今回も多くの演題発表が予定されていますが、これらを元にして論文投稿という形にて積極的に報告をいただければ、多くの学会員の公衆衛生活動の一助になるものと思います。黒潮香るあったか高知でお目にかかりましょう。
(毛利好孝)

次号予告 (第66巻・第10号)

原著

地域高齢者における「現代高齢者版余暇活動尺度」の開発：認知機能との関連の検討

……………岩佐 一, 他
東日本大震災における弁当および炊き出しの提供とエネルギー・栄養素提供量の関連について

……………三原麻実子, 他
妊娠間隔12か月未満における母親の育児負担感に関する研究……………乾 愛, 他

公衆衛生活動報告

地域包括ケアシステムの構築に向けた福岡県在宅医療推進事業における評価方法の見直し

……………田口敦子, 他